

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

高知大学地域協働学部 1 回生が鏡川流域を「知る」



5月8日(水)、高知大学地域協働学部1回生62名を対象にした授業「課題探求実践セミナー『地域を知る』」の中で、鏡川流域の概要や鏡川流域関係人口創出事業の取組について、講義を行いました。

この講義は、翌週5月15日(水)に実施予定の鏡川河畔を歩く実習に向けた事前学習として実施し、学生の皆さんに鏡川流域の魅力やまちのコイン「ぼっちり」の活用状況などを紹介しました。

鏡川流域関係人口の取組の促進や可視化のために導入したスマホアプリ「ぼっちり」の概要を説明したあと、ほぼ全員が講義の中でアプリをインストールし、実際に体験チケットを利用していました！



講義資料に掲載されたQRコードを読み取るとぼっちりが付与される体験チケット



また、鏡川でやってみたいことや関わり方のアイデアを考えてもらい、講義中に、「ぼっちり」の体験チケットを通じて送ってもらいました！



鏡川でやってみたいことをコメント欄に記入して送信するとぼっちりが付与される体験チケット

- ・川遊びがしたいです！
- ・夏休みにキャンプをしたい
- ・観光スポット化して鏡川を整備して観光客を呼び込む
- ・水切り大会
- ・たけのこを食べる会に参加する
- ・川でみんなで遊んで交流を深めたい！
- ・無造作に生えた鏡川の草を整備して遊びやすい場所にしたい
- ・地域の先達に川での遊び方を学ぶ！世代間交流にも！

学生の皆さんが送ってくれたアイデアは市職員のスマホアプリ(スポット専用アプリ)ですぐに確認できるので、講義中に市職員が読み上げて紹介しました！「ぼっちり」を通じて、学生の皆さんと即時に双方向の関わりを作ることができました！

また、アイデアを送ってくれたお礼に150ぼっちりを付与していましたが、学生の皆さんが多くのアイデアを次々に送ってくれたので、市職員の手持ちのぼっちりがなくなっていました。友人同士で話し合ったり講義資料を見返したりしながら、鏡川への関わり方を考えてくれていました。

講義後も様々な体験チケットを積極的に利用し、鏡川流域の多数のスポットにコメントやアイデアを送ったり、友人同士でぼっちりを送り合ったりと、楽しんでくれています。今後も鏡川流域の自然や人との関わりを期待しています！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android